

パブリックコメントの意見の概要と市の見解

対象案件：和光市地域公共交通計画（案）

実施期間：令和3年12月20日（月）～令和4年1月14日（金）

意見数：88名339件

「市の考え方の区分」

◎：意見を反映し案を修正した      ○意見を一部反映し、案を修正した

△：案を修正しなかった      □：その他（感想、この案件以外への意見等）

この度のパブリックコメントにおいては多くの方から多様な御意見をいただきました。意見の公表にあたっては、必要に応じて要約のうえ、同様の意見ごとに整理しております。予め、ご了承ください。

	意見概要	市の見解	
2-4 和光市の地域公共交通の将来像			
1	和光市は鉄道、路線バスにより、高い水準の地域公共交通ネットワークが保たれています。」とあるが、問題があるから検討しているのもあって、「鉄道や一部の路線バスでは高い水準の公共交通となっていますが、市内の移動については全体的に不便という指摘がされています。」と修正するのが妥当ではないか。	「和光市の地域公共交通の将来像」について、以下の通り修正します。 「…高い水準の公共交通ネットワークが保たれているため、現在の利便性の高いネットワークを維持していくことを基本とします。一方、市内には狭隘道路や高低差のため、バスの利用が困難な方や地域も存在します。市内循環バスの見直しやタクシー及び福祉車両等の利用しづらさの解消とともに、新たな移動手段の検討も行い、効率的で利便性の高い公共交通とすることを目指します。	○
2	【交通拠点】に成増駅がない。成増駅から和光市駅北口へのルートがあり、埼玉病院から和光市駅へのルートがあり、白子や南などの住民にとって成増はいわば交通の拠点である。必要に応じてさらにもっと和光市内を通るように改善してもらい、拠点として位置づけ、板橋区や練馬区、各バス会社とも常にコンタクトをとることが必要。	成増駅も交通拠点の一つですが、現状においては、市内公共交通や拠点の充実を図り、まずは市内の移動利便性向上が必要であると考えております。その為、当該資料においては成増駅は記載しておりません。今後、市内の移動の改善に併せて、広域的な事項についても検討いたします。	□
和光市地域公共交通を取り巻く現状と課題			
3	公共交通不便地域が図示されているが、これらの地域は、道路整備が、いふなれば、放置されている地域である。 具体的には、「上谷津通り」、「大和橋から北上した道路の突当りの箇所」は、検討課題ではなく、整備課題に昇格してはどうか。 「向山地区」には、左折はできるが右折ができない箇所もある。 下新倉氷川神社から新倉小学校までの「市道1号線」も交通の難所である。 「坂下公民館」には、バスの便が不可能である。 この地域の道路整備が困難であるとしたら、近隣に特別なバスの停車場所を確保するなどの方策を講じてはどうか。 地域公共交通計画を策定する過程で、必然的に、生活道路の整備が遅れていることが明白になってくる。単純に「交通不便地域」と割り切るのではなく、地域住民の「生活道路」として真剣に整備を図る必要がある。	所謂「公共交通不便地域」は主に狭隘な道路により、バスの運行が困難であるという課題に基づくものであり、ご指摘の箇所についても同様かと思えます。 【事業5-1 和光市駅北口周辺の交通空間・道路整備の推進】に記載したとおり、狭隘道路等の計画的な整備や拡幅等についても検討いたしますが、具体的な路線や整備方法等については都市計画に係る担当部署の計画に依ることとなります。 また、路線の拡幅等整備については、非常に多大な時間と費用を要することから、施策3に記載の「新たな移動手段の導入」により、地域の方の移動利便性の向上に取り組んでまいります。	□

4	<p>交通空白不便地域ということについて</p> <p>①「バス停から300m以内でもバスを利用しにくい地域」とある。</p> <p>②「高齢化状況への対応が必要」として西大和団地や諏訪原団地をあげている。しかし、高齢化の波は市内全域ととらえるのが妥当で、そう捉えるのが先進的。</p> <p>③「公共施設へのアクセス、高齢者の外出機会の創出を目指して…」とあります。②と併せ考えても、福祉政策から考えても当然のことであると思う。</p> <p>④そして、基本方針には、「運転免許証を返納した高齢者等の交通弱者の移動を確保」とあります。これも言葉だけでなく①～③と一緒に考えて実行が大事であると思う。</p> <p>以上、これらを考えると、空白地域という考え方だけでなく、超高齢化社会の中ではこれまでの地形的な「空白地域」だけでなく、「交通空白地域及び高齢者等の交通弱者等すべての市民の移動の確保」とすべきだと考える。その考え方で書き換えた方が良いと思う。</p>	<p>地形的に公共交通空白地域を捉えるだけではなく、それぞれの地域に移動が困難な方が存在することも考慮し、以下のとおり修正します。</p> <p>「市内には狭隘道路や高低差のため、路線バスの利用が困難な方や地域も存在します」</p>	○
<b>【事業1-1 新たな拠点整備等に合わせた路線整備】</b>			
5	<p>自動運転サービスの導入経路には、S Gリアルティ行の直通路線しかないことから、新たな公共交通として期待でき、用地確保ができれば他の公共交通空白地域への導入も期待できる。進めて欲しい。</p>	<p>当該経路の利便性向上に繋がるよう、検討を進めてまいります。</p>	□
6	<p>路線バスの増便や系統の増加に向けて積極的な働きかけを行う。</p>	<p>「和光市地域公共交通事業者部会」において、交通事業者との意見交換や情報共有を定期的の実施しております。現状、新型コロナウイルス感染拡大に伴う利用者減や恒常的な運転手不足等により既存路線の維持が課題となっております。路線拡大等の要望につきましても、今後の社会情勢や事業者の状況等を鑑みて、提案や意見交換等を行ってまいります。</p>	□
<b>【事業1-2 利用実態に見合った効率的な運行見直し】</b>			
7	<p>路線バスの減便や路線廃止等は収益が出ないことから、そのような考えが出されていると思うが、バス交通の維持に向けて公共交通で補完できるようにすることを取り組んでほしい。</p>	<p>既存バス交通の補完についても、事業3「新たな移動手段の導入」にて対応を検討することとしております。</p>	□
<b>【事業2-1 移動ニーズに合ったコンパクトな運行への見直し】</b>			
8	<p>市内循環バスの利便性改善は当該計画の柱といえる。「市内循環バスの再編・見直し」を掲げており、具体的な考え方も記述されている。なお、利用料金については慎重な検討を求める。</p>	<p>市内循環バスの利便性改善については、皆さまの関心が高いことを認識しております。当該計画に記載の考え方のもと、効率的な運行を検討するとともに、適正な運賃についても検討いたします。</p>	□
9	<p>適正な運賃 不明瞭な表現</p>	<p>現段階において、具体的な金額は定めておりませんので、当該計画においては「適正な運賃」と記載しております。今後、市内循環バスの見直し・再編の検討に併せ、収支率や運行経費を考慮し、適正な運賃について検討いたします。</p>	□
10	<p>遅延が発生しないような運行経路（ダイヤ設定）へ整理</p> <p style="text-align: right;"><b>【他3件】</b></p>	<p>小循環ルートへ見直すことにより、遅延の減少につながるものと考えております。</p>	□

11	市内循環バスの大和橋から埼玉病院への直通は1日4本しかなく、市役所での乗継ぎも良い時間帯のバスがない。診察に間に合うよう、和光市駅まで足を運んで東武バスに乗ることが多い。「市内循環バスの運行見直しの基本的な考え方(案)」に示されている、1周40~50分以内の小循環ルートを早急に構築し、少なくとも1時間に1本以上の運行と、和光市駅等の各拠点での乗継ぎしやすいダイヤ編成を希望する。(事業7-1についても同じく)  【他1件】	当該計画中の【市内循環バスの運行見直しの基本的考え方】に記載のとおり、1周40分~50分以内の小循環ルートとするとともに、運行便数についても増えるよう検討を進めてまいります。また、効率的な乗り継ぎもダイヤについても併せて検討してまいります。	<input type="checkbox"/>
12	外環南無料駐輪場まで自転車で通勤していたが、閉鎖と有料化をきっかけに、シェアサイクル料金や駐輪代が交通費として支給されないことから別の通勤方法を検討している。勤務先の交通費支給対象として認められる市内循環バスでの通勤がしやすくなると有り難い。中央コース第9便のような速達便がタラッシュ時間帯以降に18時台や20時台にも増便されると通勤利用者が駅からの帰宅にも利用しやすくなり、市内循環バスの持続へ向けた収支率の向上にも寄与できると考える。	市内循環バス運行見直しに際しては、通勤・通学にご利用の方も考慮した運行経路やダイヤを検討いたします。	<input type="checkbox"/>
13	路線バスとの重複・競合の解消、運賃格差を少なくしたいと考えるなら、循環バスも路線バス同様便数、運行時間も見直すことではないか。	【事業2-1 移動ニーズに合ったコンパクトな運行への見直し】に記載のとおり、長大な運行時間の解消や運行本数の増加等の見直しを進めます。	<input type="checkbox"/>
14	現状改善のためには経費が多くかかることは当然であり、現行通りの予算で考える、「予算ありき」の改善は納得いかない。	当該計画策定の段階において、「予算ありき」での検討は行っておりません。今後、市内循環バスの見直し・検討に併せて、必要経費や想定収支を考慮し、適切な予算を検討いたします。	<input type="checkbox"/>
施策3 新たな移動手段の導入			
事業3 小規模需要及び狭隘道路地域への新たな移動手段の導入			
15	早期に運行できる車両を優先して取り組みできるようにする。持続可能にするために実証実験も行うなどに取り組む。	新たな移動手段導入にあたっては、導入における迅速さのほか、地域課題への対応や運行効率等を考慮して検討してまいります。また、和光市地域公共交通計画案のスケジュールに記載のとおり実証運行についても想定しております。	<input type="checkbox"/>
施策4 総合的な情報提供・利用案内			
【事業4-3 主要拠点における案内強化】			
16	高齢者、視覚障害者でも使えるものを工夫する。	高齢者や障害者等に問わず、全ての利用者にとって分かりやすいものとするため、【事業4-3 主要拠点における案内強化】の項目に、以下のとおり加筆します。 「公共交通を利用する誰もがわかりやすい案内表示やサイン設置についても検討します。」	<input type="checkbox"/>
【事業4-4 MaaSアプリ構築等の検討・研究】			
17	MaaSにより、あらゆる交通サービスをワンストップで検索・決済・利用ができるようになれば、市内の隅々までの移動が便利になる。ぜひ進めてほしい。	【事業4-4 MaaSアプリ構築等の検討・研究】に記載のとおり、MaaSアプリの活用により、本市のこういった課題解決を図るのか明確にしたうえで、導入効果や利便性等についても検討を進めてまいります。	<input type="checkbox"/>
18	スマホ教室等について、スマホ講習だけでなく、未保有者へのスマホ購入援助対策も必要。	デジタルデバイド解消のための取組として、参考とさせていただきますが、現段階において具体的な取組は未定です。	<input type="checkbox"/>

19	スマホを使いこなせる高齢者は少ない。	【事業4-4 MaaSアプリ構築等の検討・研究】に記載のとおり、スマホ教室等の取組を検討しております。	□
【事業5-1 和光市駅北口周辺の交通空間・道路整備の推進】			
20	北口開発が遅れると必然的に公共交通の推進も利便性が悪いため、○年後には終え早期実現を目指す。	和光市駅北口周辺の整備は市内公共交通網の利便性向上に資するものでありますが、当該地域の区画整理事業等については、別途事業計画が定められておりますので、同計画に基づいて事業が行われます。なお、今後の当該地域の交通空間の整備に際しては、所管部署との意見交換や情報共有等を行ってまいります。	△
【事業5-2 バス待ち環境の整備】			
21	乗り継ぎ箇所では座って待機できる設備や雨風を避けられる屋根や風よけを設置してほしい。  【他5件】	事業5-2に記載のとおり、維持管理の困難さや物理的要因等により設置が困難な箇所が多い状況です。つきましては、まずは整備すべき箇所を整理するとともに、近隣施設等を活用した「バスまちスポット」の設定等により、安全、快適なバス待ち環境となるよう努めてまいります。	△
22	バスが近づいたら分かるようにしてほしい。	【事業4-1 公共交通のオープンデータ化】にて記載のとおり、バスロケーションサービスの導入を検討することとしております。この導入に併せ、バスの接近状況の発信についても併せて検討いたします。	□
【事業5-3 車両のバリアフリー化】			
23	普段乳幼児をベビーカーで連れてバスに乗るときに、新しい車両だと優先席にベビーカーが固定できるエリアが用意されているため、そのような車両への置き換えが推進されると子育て世帯にとってより移動が便利になると思う。	ベビーカーの利用者や車いす利用者等、足の不自由な方でも利用しやすい環境整備のため、以下のとおり文言を修正します。 「歩行が困難な方やベビーカー保持者等に合わせて、誰もが利用しやすい車両…」	○
24	乗り降りの段差改善（ノンステップバス）	【事業5-3 車両のバリアフリー化】に記載のとおり、低床バスやUDタクシー等の導入推進を検討します。	□
施策6 市民・地域・民間企業等とともに考える場づくり			
【事業6-1 部会・研究会の継続・発展】			
25	「和光市公共交通研究会」において、市内循環バスの見直し検討や利用環境の改善等について、市民との協働の取組を行っていくと記述されている。市民は、公共交通サービスを利用するという受け身の立場だけでなく、地域社会の一員として積極的な役割を果たすことが重要である。市も、住民と対等な立場に立って取り組むことを望む。	「和光市公共交通研究会」については、参加者の皆さまが市内公共交通に対し、非常に高い関心を持って参加して頂いております。当該研究会の継続的な開催により、積極的に公共交通へ関わっていただくとともに、市としても積極的な姿勢で取り組んでまいります。	□
26	交通研究会や市民の会、意見を聴ける駅の街頭、公共施設利用者にアンケート、ネット公開し回答してもらい、広報でも知らせる。市職員にも調査する。	意見集約や広報等の具体的な手法等については、事業の進捗に併せて効果的な手法を検討してまいります。	□
施策7 多様な交通サービス等との連携			
【事業7-2 公共交通とその他移動サービスの連携方策の検討・研究】			
27	自転車の活用は賛成ですが、和光市の場合ほとんどは自転車道や歩道とは別の自転車通路がほとんどないという実態です、先進国の例にならって、車道をなくすとか、車道の一部を隆起させるハンプ、一方通行にして自転車道をつくるなどの検討をしていくことも必要です。又、ポートの設置数を多くするように業者にはさらに促進すること、市民への広報も重要です。	【事業5-1 和光市駅北口周辺の交通空間・道路整備の推進】にて、「狭隘道路等の計画的な整備や拡幅等について検討する」と記載しておりますが、道路整備にあたっては自転車の良好な走行環境についても考慮いたします。	□

【事業7-3 公共交通と福祉施策の連携方策の検討・研究】			
28	障害者の乗降の際の補助や、乗客に対して手助けをするようアナウンスをするなどの取り組みをはじめとした、障害者等の利便性向上。 【他2件】	【事業5-3 車両のバリアフリー化】に記載のとおり、障害者の方も利用しやすい車両導入等の環境整備について、バス事業者や福祉担当部局等と協議や検討を行ってまいります。	<input type="checkbox"/>
施策8 運賃施策			
【事業8-1 路線バスと市内循環バスの運賃格差の是正】			
29	市内循環バスの運賃を路線バスの運賃並みにする必要はない。福祉的側面もあるので、運賃差も仕方ない。よって大人150円/子ども80円とする。 【他3件】	ご指摘のとおり、市内循環バスの運行については一部福祉的な側面もございます。一方で、路線バスの運行と重複している箇所もある等、提供されているサービスは同等である側面もあります。今後、運行計画や経費の検討に合わせ、利用者様のご意見等も伺いながら、適切な運賃のあり方について検討してまいります。	<input type="checkbox"/>
30	市内循環バスは1乗車一律150円で乗ることができて有り難いが、事業2-1で小循環ルートを形成した時に民業圧迫になると思われるため、計画の通り民間路線バスの初乗り運賃同等まで運賃を改定するか、更に距離制運賃を導入して、競合の解消を最大限に行っても良いと思う。	民業圧迫の観点も考慮しつつ、ご提案の内容につきましても、利用者の皆さまの利便性向上に繋がる運賃になるよう検討いたします。	<input type="checkbox"/>
31	一般の利用者運賃は路線バス運賃と同じにして、本数増で一般利用者が増えると経費の一部捻出も図ることができる。路線バス運賃と同じ場合は共通定期券や乗車したバス会社や市へ応分の運賃が支払われる市内交通アプリも考えられる。	運賃設定や運賃施策につきましても、当該計画に記載のとおり、市内循環バスの見直し・再編に併せて検討を進めてまいります。	<input type="checkbox"/>
32	なぜ値上げが必要なのか。一部の区間だけに費用をかけすぎて市内全体が値上がりをしていくようでは問題がある。既存の乗り物をいかす、新たな車両の相見積もりをとり、市内にある業者とも話し合い使えるものは活用して欲しい。	「全ての市民の移動の自由を目指して」とあるように、特定の地域だけ手厚くするのではなく、市内のどの地域からでも一定程度の移動利便性を確保することを目標としております。その目標達成のため、必要以上の経費がかからないよう、計画検討にあたっては効率的運行手法を検討するとともに、適正な運賃のあり方についても併せて検討いたします。	<input type="checkbox"/>
33	新たな循環バスの計画が定まっていない中で、料金改定を述べるのは時期尚早	運賃については市内循環バスの持続可能な運行や既存路線バスとの均衡等を課題として記載しておりますが、市内循環バスの新たな運行方針に先行して、運賃を決定するようなことはありません。市内循環バスの見直し・再編の検討に併せ、必要経費や目標収支等も考慮し、適切な運賃を検討いたします。	<input type="checkbox"/>
34	路線バスが運行しない経路を運行する等、利便性が向上するのであれば、路線バスと同額での利用も考えられる。 【他2件】	運賃の検討にあたっては、利便性等、利用者の皆さまの納得感も考慮して検討するようにいたします。	<input type="checkbox"/>
【事業8-2 市内循環バスの利用者（受益者）負担に基づく料金改定】			
35	利用者は応分の支払いをするべきと考える。	利用者負担についても、皆さまの納得感を得られるサービスと運賃のあり方について、検討いたします。	<input type="checkbox"/>

36	現在、フリーパスは70歳以上と幅広くフリーパスカード提示になっているので、70歳未満でも無料者は抵抗なく乗れる。できるだけ肩身のせまい思いにならない配慮（事前に有料年間フリーパス）もしてあげることも必要かと考える。都民は所得に応じてフリーパスを発行している。和光は狭い面積で利用するのは市内のみなので、増車するなら納得のいくフリーパスもしくはスマホ登録で支払いできるシステム構築、多額の費用をかけなくてもできる方法で考えてほしい。	利用者負担に係る具体的な金額設定や割引制度の有無やその区分等については、今後の市内循環バスの運行計画見直しに併せて検討してまいります。	<input type="checkbox"/>
37	市内循環バスは、行政サービスであり、高齢者や障害者、幼児等の交通弱者の救済、ひいては少子化対策の一つでもあることから、後期高齢者や障害者、幼児の運賃は無料。 【他2件】		<input type="checkbox"/>
38	利便性が向上するのであれば、70歳以上の無料乗車証の対象とならないことについても致し方ない。 【他5件】		<input type="checkbox"/>
39	一律の無料乗車証対応ではなく、年齢や収入により負担を100～150円程度、または半額程度とする等、段階的な割引や無料化を検討する。 【他4件】		<input type="checkbox"/>
40	都営バスのシルバーパスのような年間定額制や回数券の発行 【他10件】		<input type="checkbox"/>
41	これまでどおり70歳以上は無料 【他3件】		<input type="checkbox"/>
42	200円以内であれば良いかと思う。 【他1件】		<input type="checkbox"/>
<b>【事業8-3 乗り継ぎ運賃割引】</b>			
43	和光市内の移動に限っては別なコースに乗り継ぐ際の運賃は無料を検討することを提案する。乗り継ぎが必要なのはコース設定からくることであり、乗り継ぎが必要でないコースの方と不平等になるため。 【他1件】	当該事業については乗り継ぎによる負担感の軽減を目的としているものです。ご提案の手法も含め、利用者の方の負担感軽減につながる施策を検討いたします。	<input type="checkbox"/>
44	乗り換えなしで行けるルート of 市民はいいが、乗り換えをしないと目的地へいけない利用者はどう考えるか。	全ての移動に対して、何らかの乗り継ぎの発生をゼロにすることは困難です。しかし、その乗り継ぎ発生に伴う、利用者の方の負担感を少しでも軽減できるような施策について検討いたします。	<input type="checkbox"/>
<b>【事業8-4 市内公共交通等のサブスクリプション化の検討・研究】</b>			
45	シェアサイクルや路線バス等も含めてサブスク利用が可能となると、自家用車が無くても市内隅々の移動が容易になるので設定価格によっては便利に使えそうだと期待できる。事業4-4のMaaS構築と合わせると効果が見込めそうに感じるので、並行して進めてほしいと思う。	市内公共交通等のサブスクリプション化の実現と、【事業4-4 MaaSアプリ構築等の検討・研究】は、それぞれの連携により更なる利便性向上につながるものと認識しております。実現性について、検討研究を行ってまいります。	<input type="checkbox"/>
46	シェアサイクルがどこでも利用できる道路として整備されているか。原則歩道なら自転車道と歩道は区別すべきではないか？現在ガードレール内でない危険な道路が数多くある。コロナ禍になり市内の道路は、渋滞や自動車の往来している車が増えているが、安全確保や保険加入も推進しているのか。	シェアサイクルについては道路交通法に基づき利用して頂いております。狭隘道路等については、事業5-1に記載のとおり、計画的な整備や拡幅などについて検討し、段階的に自転車の走行環境を良くしていくことを目指しております。また、自転車保険については全て加入しております。	<input type="checkbox"/>

47	市内循環バスと路線バスの共通乗車券も検討してほしい。	【事業8-4 市内公共交通等のサブスプリクション化】に記載のとおり、路線バスと市内循環バスの共通フリー乗車券についても検討いたします。	<input type="checkbox"/>
48	共通フリー乗車券は良いアイデアだと思う。また、パスモやスイカなどを循環バスでも利用できるようにしたら如何か。	パスモやスイカ等のICカードについては、市内循環バス及び路線バスにて既にご利用可能となっております。	<input type="checkbox"/>
4-3 事業の実施スケジュール			
49	検討スケジュールはもう少し早めてほしい。令和4年度中に実証実験を実施されるよう要望する。続いて評価見直しとあり、一発で完全なものではできない。政治的にも翌年の5年度になると、4年度中にというのでは市民の印象が全く違うと考える。 【他2件】	当該事業の実施にあたっては、市内循環バスの運行見直しと新たな移動手段の検討を並行して進めることとなります。どちらの計画も、対象地域や利用者の意見集約や説明会、関係省庁への申請、関係事業者との調整等をそれぞれ進めることとなります。その為、スケジュールについても当該計画に記載のとおり時間を要するものとなっております。計画策定に併せ、事業についても迅速に進めますので、ご理解くださいますよう、お願いいたします。	<input type="checkbox"/>
50	計画の実施には1年はかかると思う。		<input type="checkbox"/>
計画全体に係る意見			
51	利用しやすい公共交通は、高齢者だけでなく子育て世代等、多くの市民にとって大切なもの。	【基本理念】に記載のとおり、全ての市民の移動の自由を目指しております。	<input type="checkbox"/>
52	地域交通に係る問題には自治体が取り組むことが重要。高齢者等の交通弱者、若者や子育て世代など、誰もが安心して移動できる交通環境を目指し、計画を作成したことは、時宜を得たものであり評価できる。	計画策定について、評価頂きありがとうございます。当該計画の推進や課題解決に向けては自治体だけではなく、公共交通事業者や交通関係者、また市民や利用者等の様々な方のご理解やご協力により取り組みを行っていくことも重要であると考えております。	<input type="checkbox"/>
53	当該計画には環境への配慮が欠落している。和光市環境基本計画との整合性も取るべきである。	地域公共交通の環境面への影響等を考慮し、以下のとおり修正いたします。 ・「1-2 計画の位置付け」内に「第3次和光市環境基本計画」を加筆するとともに、SDGsへの貢献について記載します。 ・【基本方針】「まちづくりと連携した持続可能な地域公共交通」に、「公共交通の積極的な活用による低炭素の交通体系の推進」を加筆します。 ・目標⑤「交通サービスを提供するための基盤整備及び体制構築」に、「環境配慮型車両の導入検討」を加筆するとともに、【目標設定の背景・現状等】に「地球温暖化対策や安全で住みよい生活環境において、公共交通の役割が期待されています。」と記載します。	<input checked="" type="checkbox"/>
54	移動の自由確保により、市内移動が活発になれば経済にも波及する。市内のスーパーや商店、飲食店、公共施設、公園や観光施設、スポーツ施設、文化教育施設等などへの支援となる。	ご指摘のとおり、移動の活発化は経済やまちの賑わいにも繋がると考えております。【基本理念】の「ひと、まち、にぎわいをつなぐ」のとおり、交通利便性の向上による、人々の移動や多様な活動が市の賑わいに繋がることも期待しております。	<input type="checkbox"/>
55	国や和光市の方針は何をめざしているのか。 ○デジタル化 ○福祉政策として取り組む	市内の移動利便性の向上は福祉的な波及効果もあることから、当該計画策定においても福祉部局へのヒアリングを実施しました。また、効率性や利便性に繋がるデジタル技術やその活用法についても検討・研究を進めます。	<input type="checkbox"/>
56	説明会は夜間開催は一日程度とし、多くの方が参加しやすい昼間として欲しい。また、開催にあたっては質問に対しても丁寧な回答を求めろ 【他3件】	今後、説明会等の開催に際しては、より多くの方の参加を考慮した日時、場所にて開催するとともに、質疑対応についても、丁寧な回答をいたします。	<input type="checkbox"/>

57	高齢者や交通弱者にとってありがたい計画案であると思う。	高齢者や交通弱者の方の移動の支援となるよう、事業を進めてまいります	<input type="checkbox"/>
58	計画案は課題解決の為の具体案（循環バスのコースやルート、停留所、ダイヤなど）が示されていないため、どう改善されるのかが見えない。	当該計画は地域公共交通に係るマスタープランであり、現段階において、市内循環バスのルートや運行便数等、具体的な計画をお示しするものではありません。今後、検討に際しては、よりわかりやすい情報発信に努めてまいります。	<input type="checkbox"/>
自動運転サービスの導入（和光版MaaS）に係る意見			
59	自動運転車両が市内を走るのは楽しみ	自動運転サービスが利用者にとって魅力的なものとなるよう、事業を実施してまいります。	<input type="checkbox"/>
60	駅北口から新倉北インターだけでなく、市内全域への普及について検討を行うべき。	当該計画は市内の交通に係るマスタープランとなっており、自動運転サービスの導入に係る具体的な事業内容等について、方針をお示しするものではありません。 自動運転サービスにつきましては、事業の進捗に併せて別途、説明会を開催するなど、市民の皆様のご理解を得られるように努めてまいります。	<input type="checkbox"/>
61	自動運転車両導入によるメリットや将来像、安全性、環境配慮のほか、利用者数や採算性、ランニングコスト等を知りたい。また、説明会の回数を増やし、日中の開催も検討してほしい。 【他4件】		<input type="checkbox"/>
62	市内の移動に係る課題については市内循環バスの充実により解決可能であり、また、それこそが市民の要望でもある。これらに係る費用を市内循環バスの見直しに使うのが先ではないか。 【他4件】		<input type="checkbox"/>
63	現時点において、積極的な導入の必要はない。市民の要望もなく、新倉地区の居住者の利用も予想できない。当面は他の自治体の進捗や成果を確認するなど、研究の段階とするべき。 【他4件】		<input type="checkbox"/>
64	財政が苦しいなか、多額の費用を投じて工事をするべきではない。 【他4件】		<input type="checkbox"/>
65	外環側道の街路樹伐採は環境保護の観点からも市民の理解を得ることは困難。 【他7件】		<input type="checkbox"/>
66	企業は公的なバスに社員送迎を任せないのが普通で、自社便により労働確保の為に運行させる。企業運送には期待できない。		<input type="checkbox"/>
67	地域分断対策として地域住民のために整備された外環側道であるにも関わらず、渋滞や騒音等の問題を発生させてきた。こういった背景があるにも関わらず、渋滞や環境問題を理由にことを起こすのはおかしい。		<input type="checkbox"/>
68	専用車線の予定路には、市道529号線へ合流する支線が多く交差しており、地域住民にとって不便な道路となる可能性がある。		<input type="checkbox"/>
69	駅北側地区限定であり、南地区には恩恵がない。（利用者が限られる） 【他1件】	<input type="checkbox"/>	
新たな交通手段やシステム等の導入に係る意見			
70	循環バスが対応できない地域には小型車両によるデマンド交通を導入してほしい。志木市や新座市でも導入している。 【他19件】	新たな移動手段の検討にあたっては、対象となる地域の特性や課題、需要等を考慮し、適切な手段を検討してまいります。また、他の自治体等の事例についても研究いたします。	<input type="checkbox"/>
71	タクシー回数券（補助券、上限付きタクシー券）や乗合いタクシー、ボランティアタクシーの検討。 【他4件】		<input type="checkbox"/>

路線バスに係る意見			
72	和光市駅と成増駅間を川越街道で結び、川越街道上に停留所の設置を	和光市地域公共交通事業者部会等により、各事業者へご意見やご要望等を伝えるとともに、意見交換も行っております。	<input type="checkbox"/>
73	増便		<input type="checkbox"/>
74	埼玉病院へのアクセス向上		<input type="checkbox"/>
75	土日の運行を増やして（成増⇄和光市駅）		<input type="checkbox"/>
76	運転や接客に課題のある乗務員がいる。 【他1件】		<input type="checkbox"/>
77	バス停への停車の際、縁石と離れて停車すると、段差があり非常に不便		<input type="checkbox"/>
市内循環バスに係る意見			
78	これまで市民に向けた改善を行わず、改善が見られなかった。	これまで十分な改善が行われず申し訳ありません。当該計画の策定により、すべての市民の移動の自由が確保されるべく、事業を推進してまいります。	<input type="checkbox"/>
79	コース案が決まった際には、住民の意見を聴く会を設けてほしい。	市内循環バスの運行計画等について方針が定まりましたら、改めて説明会等、意見を伺う機会を設けてまいります。	<input type="checkbox"/>
80	ICカード使用や現金払いが便利 【他5件】	支払いについては、ICカードと現金を利用いただけます。	<input type="checkbox"/>
81	市内循環バスの利用率や支出等を知りたい。	市内循環バスの利用状況や運行実績等については、当該計画(22ページ)に記載しております。	<input type="checkbox"/>
82	改善へ向けたスケジュールを示してほしい。	当該計画にて各事業に係るスケジュールを記載しているほか、市内循環バスの見直し・再編等、それぞれの検討にあたってスケジュールをお示しできるようにいたします。	<input type="checkbox"/>
83	土日の減便、年末年始の運休をやめてほしい。 【他3件】	土日祝日の運行については利用状況を鑑みて、第1便と最終便を運休とした経緯がありますが、今後、市内循環バスの再編・見直しに併せ、利用実態等を考慮のうえ、改めて検討いたします。また、年末年始の運行についても検討いたしますが、乗務員の労働環境等も考慮する必要があると考えておりますことを、ご理解いただきますよう、お願いいたします。	<input type="checkbox"/>
84	時間帯やエリアによって利用状況にばらつきがあるので、計画検討の際はしっかりと調査すべき。	コースや時間帯によって利用にばらつきがみられるのはご指摘のとおりです。検討にあたっては利用状況の把握を行うほか、潜在需要等も考慮して検討してまいります。	<input type="checkbox"/>
85	和光市駅発着とする。 【他2件】	当該計画は市内の交通に係るマスタープランとなっており、市内循環バスの具体的な運行経路や停留所の設置、ダイヤ等については、計画策定後に検討することとなります。この度、頂いた御意見等についても、市内循環バスの見直し・再編に際しての貴重な意見とさせていただきます。	<input type="checkbox"/>
86	市内循環バス北コースの運行利便性の改善（埼玉病院や白子コミセンへのアクセス、金泉寺や新倉郵便局への停車など） 【他6件】		<input type="checkbox"/>
87	市内循環バス南コースの運行利便性の改善（市内南地域や光が丘方面から和光市駅や市役所へのアクセスなど） 【他5件】		<input type="checkbox"/>
88	特定のコースに限定せず、市内全域を巡る運行としてほしい。		<input type="checkbox"/>
89	多くの方が利用するような施設には乗り換えによって、どのルートでも行けるように（乗り継ぎ利便性の向上） 【他1件】		<input type="checkbox"/>
90	具体的なバス停の設置要望 ※要望箇所：スーパー、病院、銀行、スポーツ施設、広沢複合施設、公共施設、その他自宅近くなど、できるだけ多くの箇所。可能な限り、入口正面に設置。 （公民館等は使用開始時間やイベントに間に合うようなダイヤ設定） 【他51件】		<input type="checkbox"/>
91	旧川越街道や氷川通りなど、現在、運行がない道路での運行 【他1件】		<input type="checkbox"/>

92	高齢者だけでなく、すべての市民を対象としたバスとする。	市内循環バスについては、全ての市民の方に利用していただくを目標としております	<input type="checkbox"/>
93	高齢者や歩行が困難な利用者が多いことから、福祉的な観点で検討して欲しい。	【事業7-3 公共交通と福祉施策の連携方針の検討・研究】のとおり、公共交通と福祉施策の連携方策の検討・研究を進めます。	<input type="checkbox"/>
94	運行するバスの増便（増車）  【他50件】	【事業2-1 移動ニーズに合ったコンパクトな運行への見直し】により「運行本数の増加」を目指すこととしております。	<input type="checkbox"/>
タクシーに係る意見			
95	都県境でのタクシー利用が不便であるので、迎車についても利便性を上げてほしい。  【他1件】	タクシーの営業区域は、道路運送法により定められており、和光市と隣接する練馬区や板橋区は別区域となっております。この区域を跨ぐての事業は法令違反となることから、都県境において利便性が悪くなっております。タクシー利用の利便性についても検討いたします。	<input type="checkbox"/>
96	北口のタクシーが少ない。  【他1件】	和光市駅北口は待機スペースが限られていおり、ご迷惑をお掛けしております。 【事業5-1 和光市駅北口周辺の交通空間・道路整備の推進】に記載のとおり、和光市駅北口周辺の交通空間・道路整備の推進に努めてまいります。	<input type="checkbox"/>
97	なかなか空車を捕まえられない。	タクシーについては乗務員不足が課題となっております。その為、需要に対して供給が不足する状況となっております。	<input type="checkbox"/>
98	たまに遠回りする運転手がいる。	タクシー事業者に申し伝えるようにいたします。	<input type="checkbox"/>
その他			
99	駅前通りと外環側道の渋滞が解消されないと、バスの定時運行等の市民生活へのしわ寄せが大きい。	当市の交通渋滞は主に通過交通によるものであると認識しております。今後、国道254号和光バイパス整備工事の進捗や都市計画道路整備等により、通過交通についても解消されるものと考えております。	<input type="checkbox"/>
100	外環側道は以前より渋滞や騒音がひどく、日本郵政へ向かうバスやトラックの増加により、更に状況は悪化している。		<input type="checkbox"/>
101	市内には電球式の信号が多い。電球信号が設置されている箇所には、第四小学校前などの事故が絶対に起こってしまっはいけない箇所がある。電気使用量等の環境面や視認性向上による安全性を考慮し、早急にLED信号設置箇所を増加すべき。	信号機の更新につきましては、所管している交通管理者へご意見をお伝えします。	<input type="checkbox"/>
102	今回、市は、地域公共交通計画について、昨年12月、市内4か所で説明会を開き、住民に内容の理解を図った。また、動画でも説明した。このような取り組みは、一応、評価する。今後、この計画が実行されるにしたがって、様々な局面があるはずである。その際も、丁寧な説明をするよう望む。また、市民の意見は、十分に聞き、施策に反映していただきたい。この計画が、「画餅」にならないように、執行部には、確たる決意とたゆみない努力が求められることを肝に銘じられたい。	今後の事業推進についても、丁寧な説明を行うとともに、市民意見を伺う場も設け、計画の効率的な推進に努めてまいります。	<input type="checkbox"/>
103	庁内の議論によって、各担当部署からも予算をつけることもご検討ください。他市ではそのようなことを実施しているところもあります。福祉の予算、子育て教育の予算、経済対策予算などで相当分を試算して計上してもらったことも検討してください。	他自治体の事例も参考にするとともに、関係部署との調整や情報交換、協力体制等についても検討してまいります。	<input type="checkbox"/>

104	小中学校の施設が酷い状況であり、トイレの洋式化、教材費の私費負担軽減などを考え、市民要望を考え、事業の優先順位を市民目線で考えて頂きたい。	ご指摘の事項につきまして、所掌部署に伝えるようにいたします。	<input type="checkbox"/>
105	免許証の返納後も移動手段の確保ができるように 【他2件】	基本方針にも記載のとおり、「運転免許証を返納した高齢者等の交通弱者の移動の確保」に努めてまいります。	<input type="checkbox"/>
106	車いす等も利用可能なリフト付ワゴン車や福祉タクシーやバスなど、福祉施設が所有する車両等の共同利用 【他4件】	福祉部局や社会福祉協議会等との協議調整等を通して、障害者の利便性向上にも努めてまいります。	<input type="checkbox"/>
107	和光市駅周辺に魅力的な商業施設を。 【他1件】	今後の和光市駅北口周辺の整備等に伴い、商業施設等についても整備されるものと考えております。	<input type="checkbox"/>
108	国道や坂道などのため、気持ちの上でも市のメインエリアから離れていると感じる。	当該計画では基本方針に記載のとおり、「多様な移動による地域活性化」を目指しております。計画推進により、気持ちのうえでも、市民が一体となるような地域公共交通となることを目指しております。	<input type="checkbox"/>
109	和光市駅前（市道2002号線）の拡幅及び新たなバス停留所の有効活用	事業5-1に記載のとおり、狭隘道路等の計画的な整備や拡幅等についても検討いたします。	<input type="checkbox"/>
110	下新倉エリアの道路拡幅		<input type="checkbox"/>
111	移動の足があれば、健康寿命も延びると思う。小回りの効く足の導入を。	これまでよりも小回りが効くような移動手段についても、「施策3新たな移動手段の導入」に基づき、検討してまいります。	<input type="checkbox"/>